

東京の再生なくして日本の未来なし

福川伸次・市川宏雄

都のあらまし町くま
考える会 都市再生推進委員会

国家の枠組みを超えて、世界は激しい都市間競争の真只中にある。欧米とアジアの多くの有力な都市は、ハードソフトの両面において魅力的な都市づくりに取り組んでいる。このビジョンを持たない東京に対する危機感から、「都心のあたりらしい街づくり」を考え、魅力核創生委員会では各界の第一人者である有識者が議論を重ね、提案を作成した。

一〇年で上海、北京に抜かれる

「都市の世紀」と言われる、二十一世紀

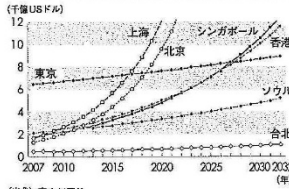
上海八位と、アジアの標榜する四都市が東京の間近に迫っている。さらに経営者によるランキングでは、東京はすでにシンガポール(二位)、香港(四位)に抜かれて五位である。しかも、上海・北京が六位と八位につけてきている。これは深刻に受け止めなければならない事実である。なぜな

表1 指標グループ別にみた東京の強みと弱み

東京の強み		東京の弱み	
分野	指標グループ	分野	指標グループ
経済	市場の活力	経済	住居コスト
	経済集積	文化・交流	環境
	ビジネス環境	文化・交流	自然環境
研究・開発	研究開発	就業環境	
	受け入れ態勢と支援制度	安全・安心	
文化・交流	研究開発成果	居住	都市生活機能
	買物と食事	環境	汚染状況
環境	エコロジー	交通・アクセス	国際交通インフラ
	交通・都市内交通		

(出典) GPCI (2010年)

図1 アジアの主要都市の域内総生産推計



(出典) 表1に同じ

〇年では、ニューヨーク、ロンドン、パリ、東京の世界四大都市という第一グループの存在と、それに続くシンガポールを筆頭とした主としてアジアとヨーロッパの二都市が互角互角の状況にある第二グループの構図が浮き彫りにされた。

の現在、人口一〇〇万を超す都市圏の数は世界中で二〇地域を超えている。一〇〇八年に日本で初めて発表された「Global Power City Index GPCI」(産経新聞)では、都市の総合力を表す主要な六分野(経済・研究・開発・文化・交流・居住)「類型」(交通・アクセス)の指標分析と、都市活動に関わる「居住者」「研究者」「アーティスト」「観光客」「生活者」の五種類のアクターの視点で、世界の三五都市を評価している。

一都市の機能として東京は他の都市に勝るレベルを有しているから、それが「コーゼ」にあって魅力的ではないと受け取られているからである。今後、東京が弱点を早急に克服し、強みとなる機能を打ち出せば、アジアの盟主・東京の地位は、向こう一〇年で他の都市に代わられる

ない。その一つの根拠は、各都市の域内総生産の状況にある。仮に、現在のトレンドで今後も推移すれば、図1、一〇年以内には東京は北京と上海に追いつかれ、一〇年以内にはシンガポールと香港に抜かれるのである。アジアの盟主・東京の地位は、向こう一〇年で他の都市に代わられる

つて、左平面的な密から脱却し、世界の主要都市のなかで最も低利用にある土地の活用や、世界最高水準の技術を活かした地・空間の利用を進め、立体的な地・空間の利用を進めなければならない。すなわち、土地の集約化を図り、上空を有効活用するために建築物を超高層化し、地下には地下鉄を用いて重層化し、地下は地形の特色を生かしたかつ効果的に活用する。

【安全性の向上】
東京の歴史上類稀した災害は、地震による被害と火災である。東京湾北部の首都圏直下型地震の脅威があるなかで、震災などの災害に対する安全への対策としては、現在、都内の戸建住宅モジュールの耐震化率八七・六パーセント、敷居高階間の耐震化率六二・六パーセントと、都心においては安全一〇〇パーセントとすべきである。また、面的再開発による安全な街区の構築、災害対

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

【安心への手立て】
いわゆる都市生活の安心のためには、犯罪を減らすセキュリティ向上の施策が必要で、そのための二四時間監視とパトロール体制の強化による安心できる都市空間の形成、緊急事態発生時に自動で各種備備を行うシステムの導入に上都市インフラの高度な維持管理が必要である。

ス、安全で快適な歩行者空間、賑わいや魅力に溢れる文化施設と街などを連続させる。人工地盤の下部は、立体的に配置された道路や鉄道などの交通網、駐車場などのサポート施設、サングラス広場、エネルギープラントや防災施設を配置するとともに、コンベンション施設、美術館や音楽ホールなどのエンタテインメント施設等々、さまざまな用途での利用を図るべきである。

【用途複合の都市空間】

都心こそ、外国人、高齢者、ファミリー、学生など、あらゆるプレーヤーが住まい、暮らす場所であるべきで、職住接合は、いち早く実現しなければならない。

国際的ビジネス機能や居住機能だけでなく、宿泊、物販、飲食、教育、学習、文化、交流、アミューズメント、医療など、二十四時間豊かな時を過ごすあらゆる都市機能を配置する必要がある。

である英語に対応すべきである。世界企業の活動を円滑にする法律や会計等ビジネスサポートの英語対応も不可欠である。

【税制面での支援・誘致】

立地企業の国際競争力強化や外国企業の確心誘致のためには、法人実効税率を少なくとも欧州主要国並み(三〇パーセント以下)まで低減する必要がある。また、長期的視点に立ち、起業時の租税減免や、事業の承継を妨げない相続税制、業種・地域を問わずた税優遇など、機動的・弾力的な政策が検討・実施されるべきである。

【宿附税制による文化支援】

文化・アートを支える宿附に対して、税制面での支援を行うべきである。さらに、公共建築物等予算の一部をパブリックアートや文化への貢献活動に振り向けたり、負担者が提案して文化・芸術への宿附を租税と調整できる仕組みを構築すべきである。

【コンパクトな複合機能都市空間形成

【交通網の充実】

都心でも、鉄道駅から離れた交通利便性の低い地域が見られる。地域を循環するLRT (Light Rail Transit)、バリアフリーで環境にやさしい新型の路面電車やBRT (Bus Rapid Transit)、鉄道並みの機能を持ったバスによる都市交通システム、コミュニティバスなど、新しいきめ細かな交通システムが求められる。

都心部の環状道路は、未整備のまま八〇年以上も経過した区間が存在する。

現在整備が進められている環状一号线(新橋一虎ノ門)は、都心の緑のシンボルロードとして、周辺地域と一体となった整備が行われる必要がある。

首都高速道路は、老朽化対策の必要性が高まっている。また、東京の歴史的名景観への配慮が不足していたことが指摘されている。今後は地下化や路線廃止といった根本的な見直しを行い、ネットワークの再編を図るべきである。さらに、羽田空港発着の国際便・国内便の一層の増強を図り、両便の二回時間化を早期に実現すべきである。そして、国際空港と都心部を結ぶ交通の利便性を高める必要がある。羽田空港と成田空港をリニア新幹線で結んだ両空港の機能一体化、さらに、ビジネスジェットサービスのための発着枠の増加や施設整備、入国審査の簡素化などを総合的に行うべきである。

内便の一層の増強を図り、両便の二回時間化を早期に実現すべきである。そして、国際空港と都心部を結ぶ交通の利便性を高める必要がある。羽田空港と成田空港をリニア新幹線で結んだ両空港の機能一体化、さらに、ビジネスジェットサービスのための発着枠の増加や施設整備、入国審査の簡素化などを総合的に行うべきである。

政策提言⑦「立体創造都心」に求められる都市運営

【入国管理の規制の緩和】

イギリスでは、外国人在留許可の種類を階層別に分け、高度技能者を経済への貢献度が高い人材とみなして、積極的に受け入れる政策を実施している。高度人材の国家間競争競争のなかで、日本においても入国管理の規制緩和を行うべきである。

【ビジネス環境の標準化】

ビジネス環境をグローバルスタンダード化するために、国際ビジネス用語

のための支援

さまざまな機能がコンパクトに複合した都市空間を実現するため、教育や文化、交流、宿泊施設等を育成用途と位置づけ、容積率緩和等のインセンティブを付与すべきである。

また、低炭素で持続可能な都市空間を実現するため、多様な環境技術を取り込んだ省エネ建物への建て替えや、共同化、大規模化による面的な再開発に対して、耐震性向上や低炭素化に貢献する点を評価し、支援すべきである。

さらに、マンションの改修や建て替え時における決議要件の見直しや、容積率の緩和、固定資産税の減免など、大胆な策を講じて、「立体創造都心」の早期実現を目指すべきである。

「立体創造都心」は「10年以内の実現」を

二〇一〇年八月に、政府の「新成長戦略」が打ち出され、その七つの戦略分野の基本方針のなかで、都市の再生

の重要性が示された。この都市再生の機運が高い今こそ、東京が、国際競争力を備えた日本を牽引する真の国際都市へと生まれ変わるチャンスと考える。

「立体創造都心」は、少なくとも一〇年以内の実現を果さなければならぬ。それには、実現のための実行メニューを早急に実施する必要がある。先例となるべき都心の特定地域から、重点的にこれらに取り組みでいかねばならない。国家的戦略として、「総合特区」制度の活用も視野に入れ、速やかに国際都心の形成に総力をあけることが重要である。

提案書についての問い合わせ先・都心のあたりしつづくりを考える会

(info@cahin.jp)

かくみわしんじ 一九三三年生まれ、財団法人機械工業会常務副会長、都のあたりしつづくりを考える会理事等、いしかわひろお 一九四七年生まれ、明治大学専門大学院長、ガバナンス研究員、提案書に福川・市川編集「グローバルソフト」編集がある。